

宇都宮市上下水道基本計画改定計画

進捗状況報告書

(平成25年度末時点)

(素案)

平成27年3月

宇都宮市上下水道局

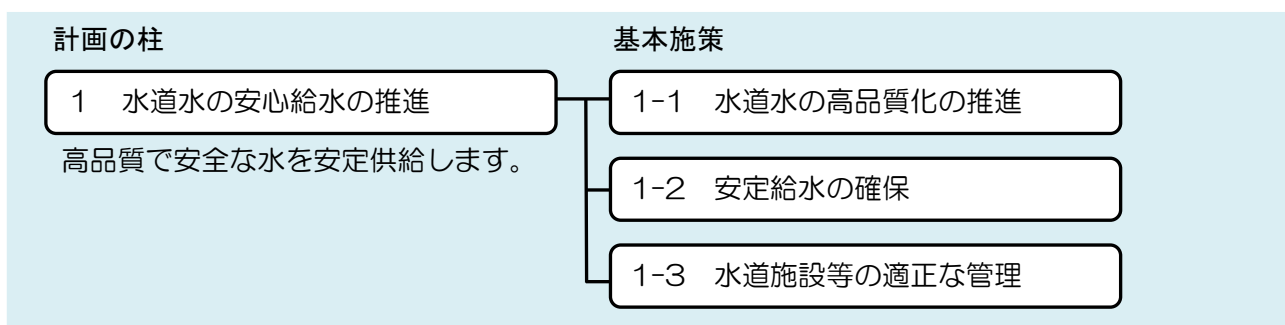
- 当素案は、上下水道事業懇話会への意見聴取に際して作成したものであり、今後、懇話会での提出意見等を踏まえて調整・修正等を行った後に、内容を確定する予定です。
- 当素案における「H26 見込値」については、資料作成時点での平成26年度末の指標の見込みを示したものであり、今後、事業の進展等により数値が変化する可能性があります。

目次

計画の柱1	水道水の安心給水の推進	1
計画の柱2	下水の適正処理の推進	9
計画の柱3	危機管理の強化	19
計画の柱4	環境負荷低減の推進	25
計画の柱5	お客様サービスの充実	29
計画の柱6	信頼経営の推進	33

計画の柱 1 水道水の安心給水の推進

■ 施策の体系



基本施策 1-1 水道水の高品質化の推進

■ 取組の基本方向

お客様に信頼される水道水を提供するため、水質管理の充実を図ります。

また、より一層安全でおいしい水道水を提供するため、新たな浄水方法の導入や直結給水対象の拡大を検討していきます。

■ 基本施策

施策名	指標名	指標の説明	指標主管課
1-1 水道水の高品質化の推進	おいしい水の要件（7項目）の適合率	厚生省（現厚生労働省）の「おいしい水研究会」によるおいしい水の要件7項目（硬度、水温、残留塩素など）について、本市の水道水はこれまでも継続してこの要件を充たしてきましたが、今後もこの要件に適合することを目標とします。	水道管理課

■ 基本事業

事業名	指標名	指標の説明	H25 取組内容	指標主管課
1-1- (1) 水道水の水質管理の充実	水道G L Pの認定	水質検査の精度や体制が確立されていることを認証する日本水道協会の水道G L Pについて、今後も、認定審査に合致する信頼性の高い水質検査を実施し、水道G L Pの認定を継続していきます。	平成24年度の水道G L Pの更新審査において、水道G L P事務局より指摘を受けた事項の改善に取り組むなど、検査の信頼性や分析精度の向上に努めました。	水道管理課
1-1- (2) おいしい水づくりの推進	高度浄水処理技術の導入箇所	将来的な水道水源の水質悪化も想定し、高度浄水処理技術について研究を進めながら、本計画期間中の導入を目指していきます。	引き続き、高度浄水処理技術の導入に向け、将来的に懸念される原水水質変化などのリスクに対して最適な処理方式の調査、研究を行いました。	水道管理課
1-1- (3) 新鮮でおいしい水の供給の推進	小規模貯水槽水道の指導率	貯水槽水道のうち、受水槽が10 m ³ 以下の小規模貯水槽水道について、実地検査の実施により、設置者に直接管理指導できた比率を示すもので、指導体制を強化し、管理の適正化をさらに推進することにより、一層おいしい水の供給を進めていきます。	3階直結直圧給水の対象要件を高さ8 mから3階建て屋上までに緩和しました。また、「貯水槽水道適正管理推進計画」に基づき、平成26年度より小規模貯水槽水道の実地検査及び啓発活動を行うにあたり、対象地区の事前調査や啓発用パンフレットの作成を実施しました。	工事受付センター

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	評価の説明	備考
100%	100%	100%	100%	A : 順調	「水安全計画」に基づき水質管理に関する各取組を推進したことにより、おいしい水の要件を満たしています。	

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	今後の方向性	備考
認定	認定	認定	認定継続	A : 順調	水道G L Pの規定を遵守しながら、より高精度で信頼性の高い水質検査を実施していくことで、水道G L Pの認定を継続していきます。引き続き「水安全計画」を着実に運用するなど、水質検査の充実に努めていきます。	
0 か所	0 か所	0 か所	1 か所	C : 進展あり	水源水質の状況を監視しながら、高度浄水処理技術の導入時期などを検討していきます。	
29. 5%	—	25. 0%	80. 0%	C : 進展あり	引き続き、小規模貯水槽水道の実地検査や設置者等への啓発活動を推進していきます。また、広報紙などを活用して、小規模貯水槽水道の管理や直結給水方式への切替促進について啓発していきます。	

基本施策 1-2 安定給水の確保

■ 取組の基本方向

水道水を安定供給するため、水源の適正管理を着実に実施するほか、水道需要に対応した計画的な施設整備を行います。

■ 基本施策

施策名	指標名	指標の説明	指標主管課
1-2 安定給水の確保	①年間水源水質事故の発生件数	安全で良質な水源水質を確保するために、「水安全計画」に掲げる取組を着実に推進し、水源水質事故の発生を防止します。ここでは、年間平均の事故発生件数を半減させることを目標とします。	水道管理課
	②普及率（水道）	給水区域内で水道を使用している人の比率を示すもので、既に98%を超えて、水道の使用を希望するほぼすべての人が水道を使える状況になっています。今後も、市民皆水道の実現に向けて、さらにこの比率を高めていくことを目標とします。	水道建設課

■ 基本事業

事業名	指標名	指標の説明	H25 取組内容	指標主管課
1-2- (1) 水源の保全対策	監視魚自動監視装置導入箇所数	これまでの水質監視設備に加えて、白沢浄水場に先行導入している、水質異常を即座に感知することができる監視魚自動監視装置を、他の浄水場などにも導入していきます。	「危機管理に係る水道施設整備計画」に基づき、松田新田浄水場への監視魚自動監視装置の設置に向け、実施設計を行いました。	水道管理課
1-2- (2) 水道施設等の整備	配水管理システム整備率（計画進捗率）	平成23年度に策定した「配水管理システム整備計画」に基づく中央コントロールシステムの整備や制御所の更新などの進捗状況を示すもので、本計画期間中に整備の完了を目指します。	「配水管理システム整備計画」に基づき、中央コントロールシステムの整備工事を実施したほか、遠方監視制御装置の設置に向けた実施設計、川田流量制御所や豊郷台増圧所の整備工事などを実施しました。	水道建設課

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	評価の説明	備考
14 件	1 件	1 件	7 件以下	A : 順調	「水安全計画」に基づき水源水質事故の発生抑制に関する各取組を推進したことにより、水源水質事故が未然に防止できています。	
98.1%	98.1%	98.2%	現行水準以上	B : 概ね順調	計画的に管網の整備を実施するとともに、加入促進の取組を推進したことにより、普及率は現行水準を維持しています。	

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	今後の方向性	備考
1 か所	1 か所	2 か所	3 か所	A : 順調	平成26年度に松田新田浄水場へ装置を導入する見込みです。また、計画期間中に高間木取水場に装置を導入することで、目標を達成する予定であり、引き続き水質監視体制の充実に努めていきます。	
—	62.8%	83.3%	100%	A : 順調	今後も「配水管理システム整備計画」に基づき、制御所や遠方監視制御装置の更新を進めていくなど、計画的に水道施設等の整備を進めていきます。	

基本施策 1-3 水道施設等の適正な管理

■ 取組の基本方向

持続可能な安定給水を確保するため、漏水の抑制に取り組み、老朽化した施設や配水管について、必要な修繕や計画的な改築・更新を行います。

■ 基本施策

施策名	指標名	指標の説明	指標主管課
1-3 水道施設等の適正な管理	①有収率（水道）	配水量に対する有収水量の比率であり、配水量がどの程度収益につながるのかを表しています。漏水の抑制などに努め、有収率を向上させることを目標とします。	水道管理課
	②老朽配水管更新率（計画更新率）	平成19年度に策定した「老朽配水管布設替計画」において、老朽配水管と位置づけた総延長約35kmの配水管のうち、布設替が完了した比率を示すもので、本計画期間中に布設替を完了させることを目標とします。	水道建設課

■ 基本事業

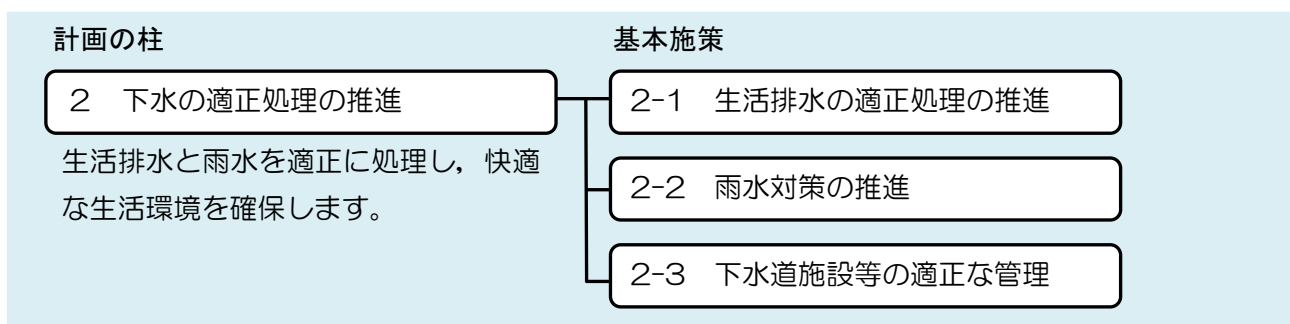
事業名	指標名	指標の説明	H25 取組内容	指標主管課
1-3- (1) 水道施設等の適正な管理	漏水調査実施率（年間）	平成24年度に策定した「第2次上下水道有収率向上計画」に基づき、毎年度に策定する実施計画で定められた配水管の漏水調査の実施率を示すもので、必要な調査を適切に実施していきます。なお、平成23年度においては、配水管延長750kmの漏水調査を実施しています。	「第2次上下水道有収率向上計画」に基づき、平成25年度に予定した延長750kmの漏水調査を実施するなど、漏水対策を推進しました。	水道管理課
1-3- (2) 水道施設等の計画的な改築・更新	①松田新田浄水場施設更新工事進捗率（計画進捗率）	平成24年度に策定した「松田新田浄水場第2期施設更新計画」に基づく老朽化した各種設備の更新工事の進捗状況を示すもので、本計画期間中に更新工事の完了を目指します。	「松田新田浄水場第2期施設更新計画」に基づき、松田新田浄水場の水質計器の一部の更新工事を実施したほか、今後の施設更新に向けた実施設計などを行いました。	水道建設課
	②老朽配水管布設替整備延長	平成19年度に策定した「老朽配水管布設替計画」において、老朽配水管と位置づけた総延長約35kmの配水管のうち、布設替が完了した延長を示すもので、本計画期間中に布設替の完了を目指します。	「老朽配水管布設替計画」に基づき、約2,470mの老朽配水管の布設替工事を実施しました。	水道建設課

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	評価の説明	備考
87.43%	88.64%	89.00%	90.50%	A：順調	「第2次上下水道有収率向上計画」に基づき、漏水の早期発見・修繕などの漏水対策を実施したことにより、有収率は順調に向上しています。	
71%	81%	96%	100%	A：順調	「老朽配水管布設替計画」に基づき、老朽配水管の布設替工事を推進したことにより、目標の達成に向け順調に更新が進んでいます。	

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	今後の方向性	備考
100%	100%	100%	100%	A：順調	効率的で効果的な漏水調査と するため、漏水量の多い地区 の調査を強化することにより、 水資源の有効活用に努め、 有収率向上に取り組んでいき ます。あわせて、引き続き水 道施設の一層適正な維持管理 に努めていきます。	※耐震化に ついては、基 本事業 3-2- (1)を参照 のこと
—	21.7%	57.1%	100%	A：順調	今後も「松田新田浄水場第2 期施設更新計画」に基づき、 松田新田浄水場や高間木取水 場における老朽化した各種設 備の更新を進めていきます。	
約 25km	約 29km	約 34km	約 35km	A：順調	今後も「老朽配水管布設替計 画」に基づき布設替を進め、 早期の計画完了を目指してい きます。	

計画の柱 2 下水の適正処理の推進

■ 施策の体系



基本施策 2-1 生活排水の適正処理の推進

■ 取組の基本方向

地域の状況に即した効率的な下水道整備を図るほか、将来の処理水量の予測に基づく計画的な施設整備と事業の効率化を推進します。

また、河川などの公共用水域の水質保全を図る事業に取り組むほか、民間等の事業場排水の水質の適正化に努めます。

■ 基本施策

施策名	指標名	指標の説明	指標主管課
2-1 生活排水の適正処理の推進	①合流式下水道改善率	合流式下水道区域において、雨天時の河川への放流水質の改善状況を表すもので、本計画期間中に「合流式下水道緊急改善計画」に掲げた取組を完了することを目標とします。	下水道建設課
	②整備率（公共下水道）	公共下水道事業計画区域における整備済面積の比率を表すもので、既に9割を超えていますが、より多くの市民が下水道を利用できるよう、この比率を高めていくことを目標とします。	下水道建設課

■ 基本事業

事業名	指標名	指標の説明	H25 取組内容	指標主管課
2-1- (1) 汚水管渠の整備	公共下水道整備面積	平成23年度に策定された「生活排水処理基本計画」に基づき、公共下水道の整備を計画的に推進し、下水道が利用できる区域の拡大を図っていきます。	河内・上河内地区や区画整理地内（鶴田第2・宇大東南部第1・第2、岡本駅西）などにおける汚水管渠の整備を実施しました。	下水道建設課
2-1- (2) 水再生センター・中継ポンプ場の整備	河内水再生センターの水処理施設整備	処理区域の拡大による処理水量の増加に伴い、河内水再生センターの施設整備を実施し、適正な生活排水の処理を図っていきます。	河内水再生センターの処理水量を再精査し、事業期間の見直しなどを行いました。	下水道管理課
2-1- (3) 合流式下水道の機能改善	貯留施設設置数	平成23年度に見直しを実施した「合流式下水道緊急改善計画」に基づく未処理放流を減らすための貯留施設の設置箇所数を示すもので、本計画期間中の設置の完了を目指します。	「合流式下水道緊急改善計画」に基づき、貯留施設6か所の設置工事を実施し、計画に掲げられたすべての施設整備が完了しました。	下水道建設課

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	評価の説明	備考
61%	100%	100%	100%	F : 完了	「合流式下水道緊急改善計画」に基づき、貯留施設設置工事を着実に推進したことにより、全12か所の工事が完了し、目標値を達成しました。	
94.7%	94.1%	94.3%	97.9%	B : 概ね順調	市街化調整区域を中心に計画的に整備を進めていますが、平成24年度に事業計画区域を拡大したことなどにより、実績値が減少しています。	

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	今後の方向性	備考
9,236ha	9,302ha	9,323ha	9,707ha	B : 概ね順調	国の動向を踏まえながら、地域特性に応じたさまざまな処理方式を組み合わせ、今後10年程度を目処に生活排水処理の概成を目指す「下水道アクションプラン」を策定し、それに基づき整備を進めていきます。	
3系列	3系列	3系列	4系列	C : 進捗あり	河内水再生センターの水処理施設の整備を開始するほか、大塚中継ポンプ場などの施設整備を計画的に推進していきます。	
4か所	12か所	—	12か所	F : 完了	平成25年度をもって、貯留施設設置工事は完了しました。今後は、供用開始後の未処理放流水の観測を行い、実績について評価を行っていきます。	

事業名	指標名	指標の説明	H25 取組内容	指標主管課
2-1-(4) 公共用水域の水質 向上	放流水質基準 適合率	水再生センターから河川への放流水について、水質基準への適合の比率を示すもので、現在でも基準に100%適合していることから、今後もこの数値を維持していきます。	下水道の水質管理の充実を図り、適正に各水再生センターの維持管理業務を実施することで、基準に適合する放流水質を実現しています。また、「下水道水質管理基本計画」に基づき、計画的に特定事業場等の立入検査を実施しました。	下水道管理課

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	今後の方向性	備考
100%	100%	100%	100%	A : 順調	引き続き、水再生センターの適正な維持管理により、放流水質の基準適合を維持していくほか、特定事業場等への計画的な立入検査を実施していきます。	

基本施策 2-2 雨水対策の推進

■ 取組の基本方向

市街地の浸水被害を解消するため、公共下水道雨水幹線の整備を図るほか、市民協働による雨水対策事業を推進します。

■ 基本施策

施策名	指標名	指標の説明	指標主管課
2-2 雨水対策の推進	重点8排水区雨水幹線整備率	「公共下水道雨水整備計画」において、特に緊急度が高い重点排水区として定めた8排水区における雨水幹線の整備状況を示すもので、引き続き整備を進めることを目標とします。	下水道建設課

■ 基本事業

事業名	指標名	指標の説明	H25 取組内容	指標主管課
2-2- (1) 雨水幹線等の整備	雨水幹線整備延長（累計）	「公共下水道雨水整備計画」において整備が計画された雨水幹線のうち、整備延長の実績を示したもので、本計画期間中においても、引き続き整備を計画的に推進していきます。	平成25年度は、「公共下水道雨水整備計画」を改定し、新たな重点排水区（下水道事業で優先的に整備を推進する排水区）を設定しました。	下水道建設課
2-2- (2) 宅地内雨水貯留・浸透施設設置の促進	雨水貯留施設等設置費補助基数	雨水貯留施設等設置費の補助により設置された施設の基数を示すもので、設置基数の増加により、雨水の流出抑制につなげていくことを目指します。	引き続き、宅地内雨水貯留・浸透施設に係る設置費補助を実施したほか、広報紙やHPによる啓発、地区市民センターやイベントにおける実物展示、自治会における説明会の実施、住宅展示場やホームセンターにおけるパンフレット設置など、積極的な広報活動を行いました。また、設置者に対するアンケート調査を行いました。	下水道管理課

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	評価の説明	備考
70%	70%	—	75%	C : 進展あり	近年の浸水被害状況や被害要因を踏まえ、平成25年度に「公共下水道雨水整備計画」を改定しました。平成26年度より改定計画に基づいて整備を進めていきます。	

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	今後の方向性	備考
15, 150m	15, 160m	—	16, 150m	C : 進展あり	今後は、平成25年度に策定した「公共下水道雨水整備計画改定計画」に基づき、雨水幹線等の整備を行っていきます。	
181 基	178 基	130 基	1,000 基 (年平均 200 基)	B : 概ね順調	設置者アンケート調査に寄せられたお客さまの声を活かしたPRを行うなど、今後もさらなる広報活動の充実を図り設置基数の増加を目指します。	

基本施策 2-3 下水道施設等の適正な管理

■ 取組の基本方向

地下水などの不明水の下水道への流入抑制を図り、下水処理の効率化を推進するほか、老朽化の進む水再生センター、中継ポンプ場、管渠などについて、必要な修繕や計画的な改築・更新を行います。

■ 基本施策

施策名	指標名	指標の説明	指標主管課
2-3 下水道施設等の適正な管理	①有収率（下水道）	汚水処理水量に対する有収水量の比率であり、処理量がどの程度収益につながるのかを表しています。不明水流入の抑制などに努めることで、有収率を向上させることを目標とします。	下水道管理課
	②老朽管渠更新率（計画進捗率）	平成20年度及び24年度に策定した「下水道長寿命化計画」において、更新の対象とされた老朽管渠のうち、工事が完了した延長の比率を示すもので、本計画期間中に更新を完了することを目標とします。	下水道建設課

■ 基本事業

事業名	指標名	指標の説明	H25 取組内容	指標主管課
2-3- (1) 下水道施設等の適正な管理	老朽管渠修繕箇所数（累計）	平成22年度に策定した「公共下水道老朽管渠修繕計画」における、田川第1処理区内の浸入水やひび割れが見られる異常箇所の修繕済箇所数を示すもので、改定計画期間中に修繕工事の完了を目指します。	「公共下水道老朽管渠修繕計画」に基づき、計画的に異常箇所の修繕工事を実施しました。	下水道管理課
2-3- (2) 下水道施設等の計画的な改築・更新	①川田水再生センター水処理施設改築工事進捗率	川田水再生センターの施設改築・更新のうち、第2期・第3期に位置づけられている、水処理2系・3系設備の改築工事の進捗状況を示すもので、本計画期間中に工事の完了を目指します。	「下水道長寿命化計画」に基づき、川田水再生センター水処理施設の改築に向けた実施設計を実施しました。	下水道管理課
	②老朽管渠更新延長（累計）	平成20年度及び24年度に策定した「下水道長寿命化計画」において、改築・更新の対象とされた老朽管渠のうち、工事が完了した延長を示すもので、本計画期間中に更新の完了を目指します。	「下水道長寿命化計画」に基づき、約200mの老朽管渠更新工事を実施しました。	下水道建設課

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	評価の説明	備考
68.60%	67.64%	62.19%	70.23%	C : 進展あり	「第2次上下水道有収率向上計画」に基づき、不明水対策などを推進していますが、年間降水量が増加した影響や管渠の老朽化による地下水等の浸入の増加により、有収率は低下しています。	
21%	32%	49%	100%	A : 順調	「下水道長寿命化計画」に基づき、老朽管渠の更新工事を推進したことにより、順調に進捗しています。	

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	今後の方向性	備考
13 か所	68 か所	86 か所	102 か所	A : 順調	今後も「公共下水道老朽管渠修繕計画」に基づき、計画的に修繕工事を実施し、早期の計画完了を目指すなど、下水道施設等の一層適正な維持管理に努めていきます。あわせて、引き続き不明水対策等の取組を着実に進めていきます。	
—	0%	2%	100%	C : 進展あり	今後も「下水道長寿命化計画」に基づき、計画的に下水道施設の改築工事を進めていきます。	
670m	990m	1,545m	3,130m	B : 概ね順調	今後も「下水道長寿命化計画」に基づき老朽管渠の更新を進め、計画期間である平成29年度の工事完了に向けて取り組んでいきます。	

計画の柱 3 危機管理の強化

■ 施策の体系

計画の柱

3 危機管理の強化

災害に強いライフラインの確立と危機管理体制の強化を図ります。

基本施策

3-1 危機管理体制の充実

3-2 施設等の災害・危機管理対策の推進

基本施策 3-1 危機管理体制の充実

■ 取組の基本方向

災害や事故などの発生による市民生活への影響を最小限に抑えるため、各種危機事案への効果的な対策を十分に講じ、緊急時対応の強化を図ります。

■ 基本施策

施策名	指標名	指標の説明	指標主管課
3-1 危機管理体制の充実	緊急時対応訓練の実施	災害や事故が発生した場合に的確に対応するために、上下水道局で各部門が実施している緊急時を想定した各種訓練に加えて、組織間の連携が十分に確保できるよう、全局的な緊急時対応訓練を実施し、訓練内容を充実させることを目標とします。	企業総務課

■ 基本事業

事業名	指標名	指標の説明	H25 取組内容	指標主管課
3-1- (1) 緊急時対応の強化	応急給水実地訓練職員参加率	応急給水実地訓練に参加した上下水道局一般職員（講師担当の配水管理センター維持グループ及び再任用職員を除く総括主査以下の職員）の比率を示すもので、毎年度25%以上の職員が訓練に参加し、応急給水に関する各種操作手順を習得することを目指します。	上下水道局における応急給水訓練を実施したほか、局の緊急時対応訓練や市防災訓練においても、災害発生時を想定した実践的な応急給水訓練を実施しました。	企業総務課

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	評価の説明	備考
実施	充実	充実	充実	A : 順調	これまでの所属別の訓練に加えて、緊急時における初動体制の確立、的確な被害状況の情報収集・伝達等を図るため、新たに全局的な「緊急時対応訓練」を実施しました。	

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	今後の方向性	備考
24.9%	25.0%	25.6%	25.0%	A : 順調	今後も訓練を継続し、多くの職員が応急給水に関する各種操作手順を習得することを目指すなど、一層の緊急時対応体制の充実を図っていきます。	

基本施策 3-2 施設等の災害・危機管理対策の推進

■ 取組の基本方向

将来にわたり，市民生活に欠かすことのできない上下水道を維持するため，施設等の耐震化を推進するとともに，平常時の危機管理対策を強化します。

■ 基本施策

施策名	指標名	指標の説明	指標主管課
3-2 施設等の災害・危機管理対策の充実	基幹施設建築物の耐震化工事着手率	上下水道の基幹施設である，松田新田浄水場・川田水再生センターにおける耐震化が必要な主要建築物のうち，工事に着手したものの比率を示すもので，本計画期間中に該当する主な工事に着手することを目標とします。	水道管理課 下水道管理課

■ 基本事業

事業名	指標名	指標の説明	H25 取組内容	指標主管課
3-2- (1) 耐震化の取組強化	①上下水道施設の耐震化工事取組件数	耐震化工事に着手，または耐震化工事の設計まで事業が進捗している上下水道施設の件数を示すもので，着実に耐震化工事を推進していきます	「上下水道施設耐震化基本計画」などに基づき，水道事業では松田新田浄水場中央管理棟の耐震化に向けた実施設計を実施しました。また，下水道事業では，下水道施設における耐震化の方向性に関する検討を進めました。	水道建設課 下水道管理課
	②水道基幹管路の耐震適合率	水道の基幹管路（導水管，送水管，配水本管）のうち，耐震管と耐震性があると評価された耐震適合管の占める比率を示したもので，着実にその比率を高めていきます。	耐震化と合わせた水道基幹管路の布設替を進めており，約540mの整備を実施しました。	水道建設課
3-2- (2) 施設の警備体制の強化	水道施設における危機管理設備整備件数（累計）	水道施設の警備体制を強化するため，平成24年度に策定した「危機管理に係る水道施設整備計画」の進捗状況を，設備の整備件数を指標として表すもので，本計画期間中に整備の完了を目指します。	「危機管理に係る水道施設整備計画」に基づき，防護設備（4件）や監視警戒設備（1件）の整備を進めました。	水道建設課

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	評価の説明	備考
耐震診断 完了	0%	0%	75%	C : 進展あり	「上下水道施設耐震化基本計画」に基づき、水道事業においては、松田新田浄水場中央管理棟の耐震化に向けた実施設計を行い、工事着手に向け順調に準備を進めています。また、下水道事業においては、水再生センターのあり方検討と合わせて、耐震化の方向性について検討を進めています。	

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	今後の方向性	備考
0 件	1 件	1 件	4 件	A : 順調	水道事業においては、平成 2 6 年度に「第 1 期水道施設耐震化整備計画」を策定したことから、同計画に基づき、計画的に事業を推進していきます。また、下水道事業については、水再生センターの今後のあり方と合わせて、耐震化の方向性について検討していきます。	
47.4%	48.9%	49.1%	50.0%	A : 順調	白沢浄水場送水管の布設替を実施していくほか、平成 2 6 年度に策定した「第 1 期水道施設耐震化整備計画」に基づく取組を推進していきます。	
—	5 件	13 件	16 件	A : 順調	今後も「危機管理に係る水道施設整備計画」に基づき、計画的に監視警戒設備、水質監視設備の整備を進めていきます。	

計画の柱 4 環境負荷低減の推進

■ 施策の体系

計画の柱

4 環境負荷低減の推進

環境に配慮した取組を推進し、持続可能な循環型社会の構築に貢献します。

基本施策

4-1 環境に配慮した取組の推進

基本施策 4-1 環境に配慮した取組の推進

■ 取組の基本方向

環境負荷の低減を図り、持続可能な循環型社会の構築に貢献するため、省エネルギー対策や再生可能エネルギー・上下水道資源の有効活用を推進します。

■ 基本施策

施策名	指標名	指標の説明	指標主管課
4-1 環境に配慮した取組の推進	局庁舎電力消費量の削減率（H22年度比）	上下水道局庁舎における電力消費量が、平成22年度からどの程度削減されたかを比率で表すもので、環境に配慮した取組の推進により、この比率を可能な限り高めていくことを目標とします。	企業総務課

■ 基本事業

事業名	指標名	指標の説明	H25 取組内容	指標主管課
4-1- (1) 省エネルギー対策の推進	ISO 14001の市環境マネジメントシステム適合状況	上下水道局では現在、宇都宮市で全庁的に取り組んでいる環境マネジメントシステムに適合した環境配慮行動を推進していますが、今後もこのシステムに適合するよう、環境に配慮した取組を進めていきます。	市環境マネジメントシステムに基づき、節電やごみ分別の徹底など、環境配慮行動を推進しました。	企業総務課
4-1- (2) 再生可能エネルギーの有効活用	太陽光発電・小水力発電設備設置箇所	上下水道施設3か所に太陽光発電設備を、1か所に小水力発電設備を設置していますが、設備の増設を検討し、さらなる再生可能エネルギーの有効活用を進めます。	太陽光発電の推進のため、市長部局が実施する「第2回太陽光発電向け市有財産貸出事業」の貸出候補地を選出するなど、設置箇所の増設に向けた取組を実施しました。	企業総務課
4-1- (3) 上下水道資源の有効活用	汚泥消化ガスの有効活用率	川田水再生センターで発生する汚泥消化ガスについては、現在、焼却炉の燃料などで約7割を活用していますが、新たな有効活用手法の導入を検討し、一層の有効活用を目指していきます。	汚泥消化ガスの有効活用を推進するため、川田水再生センター消化ガス発電施設の建設工事に向けた基本設計を実施し、工事発注のための各種作業を進めました。	下水道管理課

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	評価の説明	備考
18.8%	22.2%	22.8%	20.0%	A : 順調	環境に配慮した取組を推進したことにより、局庁舎電力消費量の削減率は向上しており、目標値を超えた実績を上げています。	

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	今後の方向性	備考
適合	適合	適合	適合	A : 順調	引き続き、市環境マネジメントシステムに適合するよう、環境配慮行動を徹底していきます。	
4 か所	4 か所	4 か所	増設	C : 進展あり	平成26年度当初に「第2回太陽光発電向け市有財産貸出事業」が実施・公募された結果、下水道施設の1施設において、民間事業者による太陽光発電の設置が見込めることとなったため、今後は設置に向けた取組・支援を実施していきます。	
70%	—	70%	70%超	C : 進展あり	川田水再生センターにおける消化ガス発電施設について、平成28年度からの稼働及び発電電力の売電を目標に事業を進めていきます。	

計画の柱5 お客様サービスの充実

■ 施策の体系

計画の柱

5 お客様サービスの充実

お客様ニーズに的確に対応し、お客様満足度の向上に努めます。

基本施策

5-1 お客様サービスの高品質化

基本施策 5-1 お客様サービスの高品質化

■ 取組の基本方向

上下水道事業に係る広報広聴活動の充実強化を推進し、事業に対するお客様の理解と信頼の向上に努めるとともに、お客様ニーズを的確に反映した事業を展開し、お客様満足度の向上に努めます。

■ 基本施策

施策名	指標名	指標の説明	指標主管課
5-1 お客様サービスの高品質化	お客様満足度	毎年度実施される市政世論調査において、基本施策「上下水道サービスの質を高める」に「満足している」、「どちらかという満足している」と回答した人の比率を示すもので、お客様サービスをさらに充実させることにより、お客様満足度を高めていくことを目標とします。	経営企画課

■ 基本事業

事業名	指標名	指標の説明	H25 取組内容	指標主管課
5-1- (1) お客様サービスの充実	広報紙閲読率	マーケティング調査などで、局が発行する広報紙「わたしたちのくらしと水」を「いつも読んでいる」、「たまに読んでいる」と回答した人の比率で、内容の充実などに取り組み、お客様へのさらなる情報提供を進めていきます。	引き続き、年4回の広報紙発行を中心に、ホームページやイベントへの出展などを通じて、お客様への情報提供を実施しました。	経営企画課

※ 「5-1- (2) 新鮮でおいしい水の製造と供給の推進」、「5-1- (3) 広報広聴活動の充実」については、一部取組を除いて再掲のため、記載は省略します。

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	評価の説明	備考
68.2%	—	66.0%	75.0%	—：その他	平成24年度より、評価の指標として用いていた市政世論調査の調査項目が変更されたことから、平成25年度については実績評価を見送りました。平成26年度より当計画の指標に適合する形で調査項目を追加したことから、今後は適切な評価を実施していきます。	

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	今後の方向性	備考
64.8%	—	50.5%	70.0%	—：その他	広報紙については、局オリジナルキャラクター「水道ぼうや」を多く活用するなど、よりわかりやすい紙面づくりに努めていきます。 また、水道100周年・下水道50周年記念事業とも合わせて効果的な広報広聴活動に取り組んでいきます（基本事業5-1-(3)）。	

計画の柱 6 信頼経営の推進

■ 施策の体系

計画の柱

6 信頼経営の推進

健全経営の推進と人材育成により経営基盤の強化を図り、信頼性を確保します。

基本施策

6-1 経営基盤の強化

6-2 経営の効率化

基本施策 6-1 経営基盤の強化

■ 取組の基本方向

適正な上下水道料金の確保を図るとともに、建設コストや企業債残高などの縮減に努め、経営の健全性を確保します。また、人材育成を強化し、公営企業を運営するために必要な職員の育成と技術力の維持向上を図ります。

■ 基本施策

施策名	指標名	指標の説明	指標主管課
6-1 経営基盤の強化	企業債残高（上下合計）	建設改良事業の財源として、財務省などから借り入れた資金の残高を表すもので、支払利息の負担を軽減する目的などから、今後も可能な限り残高を縮減することを目標とします。	経営企画課

■ 基本事業

事業名	指標名	指標の説明	H25 取組内容	指標主管課
6-1- (1) 財政基盤の強化	①収納率（水道料金）	請求した水道料金等のうち、実際に収納した料金の比率を示すもので、平成23年度の収納率（現年度分と過年度分を合わせた率）は、「第2次水道料金等の収納率向上計画」の目標値を上回っており、良好な水準にあります。料金収入は経営の根幹となるもので、今後もこの水準を維持していきます。	収納率の維持向上に向けて、継続的な訪問、電話催告を実施するとともに、特に市内転居休止分の未納者対策を強化したほか、何度催告してもなお未納である者に対しては、厳正な給水停止や支払督促（水道）、積極的な財産調査を実施した上での差押（下水道）などの滞納処分を実施しました。	サービスセンター
	①収納率（下水道使用料）			
	②経常収支比率（水道）	経常費用に対する経常収益※の比率で算定されるもので、公営企業においては、100%以上であることが望ましいとされていることから、今後もこの水準を維持していきます。	国庫補助金確保や建設コスト縮減を進めたほか、特定被災地方公共団体を対象とした公的資金補償金免除繰上償還制度を活用して、企業債に係る支払利息の縮減を図り、良好な収支を維持しました。	経営企画課
	②経常収支比率（下水道）			

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	評価の説明	備考
1,278 億円	1,118 億円	1,056 億円	1,000 億円以下	A : 順調	特定財源の確保や建設コストの縮減により新規起債を抑制したほか、補償金免除繰上償還制度を活用したことなどにより、企業債残高は順調に縮減できています。	

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	今後の方向性	備考
97.88%	97.90%	97.91%	現行水準 の維持	A : 順調	「第2次水道料金等の収納率向上計画」の基本方針に基づく具体的施策を着実に実施することで、引き続き高水準である収納率の維持・確保を図っていきます。	
97.04%	96.95%	96.95%	現行水準 の維持	A : 順調		
122.3%	119.7%	125.1%	100% 以上	A : 順調	引き続き特定財源の確保や建設コストの縮減に努めるほか、遊休資産の処分（水道）や汚泥消化ガス発電事業による収入確保（下水道）などを通じて、一層の経営の健全性確保に取り組んでいきます。	
108.0%	109.8%	110.9%	100% 以上	A : 順調		

事業名	指標名	指標の説明	H25 取組内容	指標主管課
6-1-(2) 人材育成の強化	職員の年間研修参加回数	上下水道局職員が職場内外で1年間に参加した研修の平均回数を示すもので、職員の研修参加機会を確保するとともに、内容の充実に努め、上下水道事業の運営に必要な能力の向上を図っていきます。	「上下水道局研修計画」に基づき、局職員全体を対象とした集合研修、研修機関等への派遣研修などを実施し、局職員の能力向上を図るとともに、研修に参加しやすい職場風土の醸成に努めました。	企業総務課

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	今後の方向性	備考
3.5回	3.7回	集計中	3.5回	A：順調	引き続き、研修機会の確保と内容の充実に努め、職員の能力向上を図るとともに、本局を取り巻く社会環境の変化やこれまでの人材育成の取組の評価を踏まえ、「人材育成方針」の改定を進めていきます。	

基本施策 6-2 経営の効率化

■ 取組の基本方向

中長期的な資産管理のあり方検討や、さらなるICT（情報通信技術）の活用などを通じて、効率的な経営を推進することで、上下水道料金の維持抑制に努めながら、持続可能な事業運営を確立します。

■ 基本施策

施策名	指標名	指標の説明	指標主管課
6-2 経営の効率化	企業債残高（上下合計、再掲）	建設改良事業の財源として、財務省などから借り入れた資金の残高を表すもので、支払利息の負担を軽減する目的などから、今後も可能な限り残高を縮減することを目標とします。	経営企画課

■ 基本事業

事業名	指標名	指標の説明	H25 取組内容	指標主管課
6-2- (1) 民間的経営手法の活用	会計基準見直しへの対応	地方公営企業法等の改正により、平成26年度から新たな会計基準が適用されます。このことから、法改正に的確に対応し、新基準への移行を円滑に実現していきます。	新たな会計基準を適用した平成26年度予算案の作成に向けて、必要となる固定資産の取扱いの見直しや引当金計上の考え方の整理などの作業を行いました。また、財務会計システムの改修等を実施しました。	経営企画課
6-2- (2) 計画的・効率的な事業の推進	水道事業アセットマネジメントの実施	水道事業においては、アセットマネジメントの取組を試行的に開始しており、今後はより高いレベルでの取組を実施し、中長期的な資産管理のあり方を踏まえた経営につなげていきます。	水道事業においては、「水道事業アセットマネジメント推進基本方針」を策定し、本格実施に向けた考え方や方向性などを示しました。	水道管理課

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	評価の説明	備考
1,278 億円	1,118 億円	1,056 億円	1,000 億円以下	A : 順調	特定財源の確保や建設コストの削減により新規起債を抑制したほか、補償金免除繰上償還制度を活用したことなどにより、企業債残高は順調に削減できています。	

H23現状値	H25実績値	H26見込値	H29目標値	H25 評価	今後の方向性	備考
検討	一部対応	一部対応	検討済	A : 順調	新たな会計基準が適用される平成26年度決算に向けて、引き続き対応を進めるほか、経営状況をより適切に把握するため、経営分析の手法を見直していきます。	
施行実施	基本方針策定	推進基本計画策定	本格実施	A : 順調	水道事業においては、中長期的な視点により計画的に水道施設を管理運営するアセットマネジメントシステムを確立していきます。なお、下水道事業では、ストックマネジメントシステムの構築に必要な基本情報を整理した基本計画等を策定し、基礎調査などを実施していきます。	